

あなたの納めた税金は

予算審査・

どのように使われるのか

各常任委員会報告

総務文教常任委員会

委員長 古閑 修一

総務課
一般会計予算は、前年度に比較して7億5,263万6千円増の65億8,300万2千円。地方交付税、特別交付税合わせて31億3,000万円（前年度比9,000万円増）、町税7億6,573万9千円（前年度比1,537万円減）。主な事業として、ふれあいの森里山再生整備755万2千円、難視聴地域共聴施設整備補助金1,708万1千円、防火水槽新設工事（7基）3,220万1千円、カーブミラー、ガードレール新設235万円。

税務住民課
町税歳入は、個人分2億3,428万円（前年度比141万4千円減）、法人分3,166万9千円（前年度比86万2千円増）、固定資産税4億2,385万5千円（前年度比1,882万3千円減）、軽自動車税3,661万7千円（前年度比53万円増）、町たばこ税4,131万円（前年度比352万7千円増）、入湯税410万1千円（前年度比5万2千円減）。歳出の主なものとして、水質検査補助金34万5千円、和水町斎場委託料275万2千円、せきすい斎苑負担金630万9千円。

学校教育課
学校統合同連として、開校準備委員会、造成工事及び設計等の委託料、その他総額で7億7,780万2千円。学校図書購入費、小学校1,500万円、中学校1,100万円。

厚生常任委員会

委員長 小山 暁

健康福祉課
平成24年度一般会計・民生費の当初予算総額は15億2,823万7千円、対前年度比で50,931千円の減となっており、民生費の主な減額要因は、介護予防費や子ども手当等の減額によるものである。

一方、衛生費の当初予算総額は6億0,328万1千円で、対前年度比で31,193千円の減となっておりその主な要因は、予防接種等の減額である。

保育園費 総予算額は62,447千円で、対前年度比で1,555千円の増となっている。その要因は、保育室の空調機工事等によるもの。

社会福祉費 予算総額は2億1,922千円で対前年度比で597千円の減となっている。

障害者福祉費 2億46,909千円、新規事業等で対前年比10,018千円の増となっている。

地域包括支援センター 予算総額は、40,742千円で対前年比で14,742千円の増。

その要因は、介護保険料を押しやるための措置として、委託料等の4費目を従来の介護保険事業会計から一般会計へ組み換えたためである。

児童福祉費 予算総額は2億63,442千円で対前年比36,176千円の減。

主なものは、子どものための手当1億66,200千円等。

保健衛生費 予算総額は2億62,553千円。対前年比で8,111千円の減。

予防費 予算総額は36,503千円。対前年比13,196千円の減。

高齢者・乳幼児インフルエンザ予防接種・子宮頸がん予防ワクチン接種委託料等。

健康増進事業費 予算総額37,574千円。

健康づくり事業費 予算総額2,623千円。

母子保健事業費 予算総額11,136千円。母子健康推進員報償費や妊婦健診委託料等。

介護保険事業会計 予算総額は歳入・歳出15億94,313千円で、対前年比で48,873千円の増。

歳入では、一般会計からの繰入金1億90,171千円等。

歳出の主なものは、施設介護サービス給付費7億13,520千円等。

和水町特別養護老人ホーム事業会計 予算総額は、歳入歳出4億75,671千円で対前年比15,502千円の減。歳入の主なものは、サービス収入の4億54,133千円。

歳出では、一般職給料4億34,041千円等。

和水町立病院事業会計 収益的収入及び支出予定額は、収入・支出それぞれ9億22,800千円で、対前年比1,083千円の増。補助金関係の主なものは、医療情報システム導入補助40,000千円等。

資本的収入及び支出の予定額は、収入予算額1億13,479千円で、支出予算額は1億49,715千円。支出額に対して、不足する36,236千円は、過年度損益勘定留保金で補填することになっている。

建設経済常任委員会

委員長 荒木 政士

経済課
◎ 経済課関係の総予算は、3億6,668万7千円で、（前年比1,628万7千円減）。

◎ 農業委員会関係では、農家台帳システム導入終了のため1千万あまりの減額となっている。

◎ 農業総務振興費9,581万1千円の中には、有害鳥獣捕獲委託料150万円、農業後継者補助金40万円、新規就農者助成金120万円（6名分）の外、生産部会補助金、山太郎祭補助金等、例年どおりの計上である。農業振興のためにも、予算の増額と担い手育成対策の充実を願う処である。

◎ 中山間直接支払事業は、昨年同様53協定6,184万9千円の計上。

◎ 農地・水・環境保全向上対策事業は24年度より2期目に入り、19組織506万7千円で250万円の増額となっている。

◎ 土地改良事業では、東部地区の24年度採択を予定して、換地業務委託料770万円の計上、土地改良区補助金620万円が大きな増額となっている。

◎ 商工観光関係では、商工会補助金、保守点検委託料、清掃委託料、施設管理委託料など例年どおりの計上、ロマン館売場拡張工事費900万円新規事業として観光交流体験ツアー委託料100万円、なごみ魅力アップ事業委託料200万円が計画されている。

00万円。

社会教育課
成人式、生涯学習推進大会費用341万8千円、スカイドームのバスケットコートライン張替50万4千円、町体育館駐車場舗装改修49万6,650円、山城調査費162万8,000円。

国民健康保険事業会計
歳入予算で、一般被保険者保険税2億2,164万2千円、退職被保険者保険税2,620万4千円。前期高齢者交付金3億6,500万1千円。歳出予算の主なもので、高額療養費1億2,750万円。後期高齢者支援金2億1,000万円。

後期高齢者医療事業会計
歳入で、保険基盤安定繰入金4,322万8千円、医療保険料として、特別徴収、普通徴収合わせて7,554万7千円。歳出で、広域連合への納付金3,318万5千円。

住宅用地造成事業会計
歳入の主なもので、住宅地貸付収入（7区画）231万7千円。歳出で、久井原ニュータウン、グリーンビレッジ平野の一般管理費381万8千円、一般会計への繰入金231万8千円。



千円。対前年比で8,111千円の減。

「予防費」 予算総額は36,503千円。対前年比13,196千円の減。

高齢者・乳幼児インフルエンザ予防接種・子宮頸がん予防ワクチン接種委託料等。

「健康増進事業費」 予算総額37,574千円。

「健康づくり事業費」 予算総額2,623千円。

「母子保健事業費」 予算総額11,136千円。母子健康推進員報償費や妊婦健診委託料等。

「介護保険事業会計」 予算総額は歳入・歳出15億94,313千円で、対前年比で48,873千円の増。

歳入では、一般会計からの繰入金1億90,171千円等。

歳出の主なものは、施設介護サービス給付費7億13,520千円等。

「和水町特別養護老人ホーム事業会計」 予算総額は、歳入歳出4億75,671千円で対前年比15,502千円の減。歳入の主なものは、サービス収入の4億54,133千円。

歳出では、一般職給料4億34,041千円等。

「和水町立病院事業会計」 収益的収入及び支出予定額は、収入・支出それぞれ9億22,800千円で、対前年比1,083千円の増。補助金関係の主なものは、医療情報システム導入補助40,000千円等。

資本的収入及び支出の予定額は、収入予算額1億13,479千円で、支出予算額は1億49,715千円。支出額に対して、不足する36,236千円は、過年度損益勘定留保金で補填することになっている。

建設課
建設課関係の総予算は、7億4,224万8千円で、前年比7,357万4千円の増額となっている。

◎ 土木総務費では、県道事業負担金600万円（和仁菊水線）土木費補助4,284万9千円（88件）、道路維持費4,200万の増額計上。

◎ 道路新設改良費は、補助事業2億円、単独事業では工事費で、10路線1億7,600万円の計上。単独事業の増額を望むところである。

◎ 住宅管理費では、老朽化の為、修繕・工事費等増額されていますが、定住推進の為に必要な事業であると思われます。

特別会計
◎ 簡易水道事業は、使用料と繰入金1,981万8千円で、償還金2,445万1千円を補っている。給水率向上を。

◎ 下水道事業では、昨年度に続き（特老分）の工事費1,500万円の計上、この事業も加入率向上を願うところです。

◎ 特定地域生活排水処理事業は、昨年より町設置型へ一本化された。個人設置型の町管理への編入（寄付）の推進が必要であると思われる。

